Canon LS-120TKⅢ / LS-12TKⅢ
使用説明書 保証書付

⚠ 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 煙が出ている、発熱している、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。
  また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- ＵＳＢケーブルは、使い方を誤ると火災や感電の原因になります。次のことは必ずお守りください。
  - ・ 束ねたり、結んだりしない。
  - ・ 濡れた手で USB ケーブルを抜き差ししない。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・ 分解しない。
  - ・ 加熱しない、火の中に投入しない。
  - ・ 充電しない。

  本機に使用している電池を取り外した場合は、子供が電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
  万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意 取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重い物を載せないでください。置いた物が倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金属片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。USB ケーブルを引っぱると、芯線の露出、断線など、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - ・ 指定以外の電池は使用しない。
  - ・ 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる。
  - ・ 長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

取扱い方法についてのご質問、ご相談に電話でお答えします。

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90025

[受付時間] <平日>9:00～20:00
<土日祝日>10:00～17:00
(1/1～3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9632 をご利用ください。
※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノン計算機ホームページ　canon.jp/cal

お願いとご注意

- ・計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- ・液晶表示部はガラスでできていますので強く押さえないでください。
- ・低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

電　源

本機は、太陽電池と内蔵電池の２電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池または内蔵電池に切換わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

＊内蔵電池は、長時間にわたりご使用いただくことができます。内蔵電池が寿命になっても太陽電池計算機としてご使用になれますが、引き続き、内蔵電池でご使用になりたい場合は、お近くの営業所またはサービスセンターに電池交換をご依頼ください。

◆本機は約７分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は、CA キーを押せば、再び電源が入ります。

本体裏面のRESETボタン

計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。

＊RESET後は再度税率を設定し直してください。

修理受付窓口

電卓・電子辞書の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。

下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。（但し、東京QRセンター・新宿QRセンターの営業時間は10:00AM～6:00PM、休業日は日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

センター	TEL	〒	住所
（北海道地区）			
※札幌サービスセンター	TEL 011(728)0665	〒060-8522	北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F　札幌支店内
（東北地区）			
※仙台QRセンター	TEL 022(217)3210	〒980-8560	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング1F　仙台支店内
（関東・信越地区）			
大宮サービスセンター（持込のみ）	TEL 048(649)1450	〒330-0854	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-17 シーノ大宮サウスウイング6F　さいたま営業所内
東日本修理センター（持込のみ）	TEL 043(211)9032	〒261-8711	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張ビル1F 幕張事業所内
（東京・神奈川・山梨地区）			
東京QRセンター（持込のみ）	TEL 03(3837)2961	〒110-0005	東京都台東区上野1-1-12 信井ビル1F
新宿QRセンター（持込のみ）	TEL 03(3348)4725	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
横浜QRセンター（持込のみ）	TEL 045(312)0211	〒220-0004	神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル2F　横浜営業所内
※キヤノンテクニカルセンター	TEL 0297(35)5000	〒306-0605	茨城県坂東市馬立1234　F7棟3F
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。			
（中部・北陸地区）			
※名古屋QRセンター	TEL 052(939)1830	〒461-8511	愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F　名古屋支店内
（近畿地区）			
※大阪QRセンター	TEL 06(6459)2565	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島6-1-21 CBS中之島ビル2F
（中国・四国地区）			
広島サービスセンター（持込のみ）	TEL 082(240)6712	〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング1F　広島支店内
高松サービスセンター（持込のみ）	TEL 087(823)4681	〒760-0027	香川県高松市紺屋町4-10 鹿島紺屋町ビル3F　高松営業所内
（九州地区）			
※福岡QRセンター	TEL 092(411)4173	〒812-0017	福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノンMJ福岡ビル1F　福岡支店内

2006年4月1日現在　上記の記載内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

キヤノン電卓保証書

製品形名 LS-120TKⅢ/LS-12TKⅢ　**持込修理**

フリガナ お客様名　　　　様	お買上日　　年　　月　　日 保証期間：お買上日から一年間
フリガナ ご住所〒 電話番号　　－　　－	
販売店　販売店名 住　所 電話番号	

●ご販売店様へ
お買上日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

この保証書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
上記の保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上販売店または弊社に修理をご依頼ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
お問合せ先:050-555-90025

05071302

保 証 規 定

1. 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間中に、万一故障した場合は、本保証書を本製品に添付のうえ、表記の販売店または弊社までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理または機械交換を行います。なお、この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となりますので、予めご了承願います。
2. 保証期間中でも次の場合は有料修理となります。
   (1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷（表示画面のガラス割れ等）
   (2) 不適切な移動・落下等による故障および損傷
   (3) 表記の販売店または弊社以外での修理、改造による故障および損傷
   (4) キヤノン製以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障および障害
   (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (6) 本保証書の提示がない場合
   (7) 本保証書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合
   (8) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合
3. お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするため、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しています。なお、故障状況により部品交換方式を採用させていただく場合がございますので、予めご了承願います。
4. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。
5. 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、ご了承願います。
6. 転居、譲り受け、贈答等の場合で表記の販売店に修理を依頼できない場合には、弊社にお問合せください。
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
8. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※ 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社及び弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ 保証期間経過後は弊社規定の修理・交換料金を申し受けます。
※ 保証内容や修理のお問い合わせは、弊社修理窓口までお願い致します。

PUB. E-IJ-1020 Ⓙ

２つのモードが選べます

本機には、通常の電卓として使用する計算モードと、テンキーとして使用するPC入力モードの２つのモードがあります。パソコンに接続していない時は、計算モードになります。USBケーブルでパソコンに接続中は、PC/計算（LS-120TKⅢ）または、PC/計算（LS-12TKⅢ）を使って、２つのモードを切替えることができます。

計算モード

計算モードにした際には、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

- **ON CA** **電源オン／クリアオールキー**：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします（税率はクリアされません）。
- **CI/C** **入力訂正キー**：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。２回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。
- **・Del（小数桁指定）** **小数点桁指定キー**：演算結果の小数点以下の桁数を指定するキーです。指定位置は、小数点以下０、２、３桁、F（浮動小数点）です。CA キーの後に・キーを長押し（２秒以上）すると、F→0→2→3→F の順に表示が変わります（・キーを押し続けると表示が自動的に上記の順に変わります）。
- **%±** **パーセント・プラス・マイナスキー**：パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。
- **税込（税率設定）** **税率設定・税込み計算キー**：税率の設定、税込み計算を行う時に使うキーです。あらかじめ計算したい税率を設定することができ、設定した税率で税込み計算を行うことができます。
- **税抜（税率確認）** **税率確認・税抜き計算キー**：税率の確認、税抜き計算を行う時に使うキーです。CA キーの後にこのキーを１回押すと、設定した税率が表示されます。また、設定した税率で税抜き計算を行うことができます。
- **BS** **バックスペースキー**：表示された数値を１桁ずつずらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、１桁ずつ訂正することができます。

メモリ計算

- **M±** **メモリプラスイコールキー**：数値または演算結果をメモリに加算する時に使います。
- **M≡** **メモリマイナスイコールキー**：数値または演算結果をメモリから引く時に使います。
- **RM/CM** **リコールメモリ／クリアメモリキー**：１回押すと、メモリ内の数値を呼び出します。続けて２回押すと、メモリ内の数値をクリアします。

PC 関連キー

- **PC/計算** **PC/計算モード切替えキー**：パソコンに接続して使用する場合と、通常の電卓として使用する場合を、このキーで切り替えます。
- **送信** **送信キー**：計算結果を、ＵＳＢケーブルでつないだパソコンに送信するキーです。

計算結果の送信方法

計算結果がディスプレイ画面に表示された状態で、送信 を押します。

※ パソコンと接続していない時は、送信 キーは無効となります。
※ 計算結果を送信中に、キーを押しても無効となります。
※ 送信できるのは数値のみで、３桁位取りマークやM（メモリ），＝などの計算状態表示シンボルは送信できません。
※ エラー中（Ｅシンボル点灯中）は送信できません。
※ 税率設定中は送信できません。
※ データ送信中に異常が発生した場合、画面に「Error」が表示され、データが送信できなくなります。その際には CI/C キーを押せば送信中の数値が画面に表示され、CA キーを押せば数値がクリアされ、画面に「0.」が表示されます。

仕様

型　式	キヤノン 「LS-120TKⅢ」/「LS-12TKⅢ」
表　示	液晶表示12桁
演算桁数	置数、被演算数/演算数;12桁 結果; 上位桁優先12桁
使用温度範囲	0℃～40℃
外形寸法	145 mm(奥行)x 96 mm(幅)x 27.5 mm(高さ)(LS-120TKⅢ) 127 mm(奥行)x 74 mm(幅)x 14.5 mm(高さ)(LS-12TKⅢ)
重　量	124.5g(LS-120TKⅢ)/ 70g(LS-12TKⅢ)
電　源	太陽電池および内蔵電池（本体裏面をご覧ください）
付属品	USB ケーブル(LS-120TKⅢ) 巻き取り式USB ケーブル(LS-12TKⅢ)

◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

◆計算を始める前に、必ず ON CA キーを押してください。

計算例	操作	表示
	CA	(0.)
140－25＋22＝137	140 [－] 25 [＋] 22 [＝]	(137.)
2 x ~~2~~ 3＝6	2 [×] 2 [CI/C] 3 [＝]	(6.)
－152 ~~x~~＋98 ~~8~~ 9＝－53	[－] 152 [×] [＋] 98 [BS] 9 [＝]	(－53.)
9÷5x3.2+7－1=11.76	9 [÷] 5 [×] 3 [・] 2 [＋] 7 [－] 1 [＝]	(11.76)
(2+4)÷3x8.1=16.2	2 [＋] 4 [÷] 3 [×] 8 [・] 1 [＝]	(16.2)
自乗・べき乗	[×] の後続けて [＝] キーを（n-1）回押すと、n 乗が得られます。	
$4^3 = 64$	4 [×] [＝] [＝]	(64.)
逆数計算	[÷] [＝] キーを続けて押せば、逆数を求められます。	
$\frac{1}{2} = 0.5$	2 [÷] [＝]	(0.5)
定数計算	アンダーラインがひかれた数字が自動的に定数となります。	
2+<u>3</u> =5	2 [＋] 3 [＝]	(5.)
4+<u>3</u> =7	4 [＝]	(7.)
1<u>−2</u> =−1	1 [－] 2 [＝]	(−1.)
2<u>−2</u> =0	2 [＝]	(0.)
<u>2x</u>3 =6	2 [×] 3 [＝]	(6.)
<u>2x</u>4 =8	4 [＝]	(8.)
6<u>÷3</u> =2	6 [÷] 3 [＝]	(2.)
9<u>÷3</u> =3	9 [＝]	(3.)
パーセント計算① 300 の 27%は？ $\frac{300 \times 27}{100} = 81$	3 [00] [×] 27 [%±]	(81.)
パーセント計算② 11.2は56の何%？ $\frac{11.2}{56} \times 100 = 20$	11 [・] 2 [÷] 56 [%±]	(20.)
割増し計算 1,200+(1,200 x 17.5%) = 1,410	12 [00] [＋] 17 [・] 5 [%±]	(1'410.)
割引き計算 1,200−(1,200 x 17.5%) = 990	12 [00] [－] 17 [・] 5 [%±]	(990.)

メモリ計算

計算例	操作	表示
	CA	(0.)
3x4 =　12	3 [×] 4 [M±]	(M 12.)
－) 6÷0.2 =　30	6 [÷] [・] 2 [M≡]	(M 30.)
－18	[RM/CM]	(M －18.)
＋)　200	200 [M±]	(M 200.)
182	[RM/CM]	(M 182.)
	[RM/CM]（メモリのクリア）	(182.)

税計算

計算例	操作	表示
税率の設定（例: 5% に設定）	CA [税込] 5 [税込]	(税 % 5.)
確認	CA [税抜]	(税 % 5.)
税込計算 税抜表示額2,000円の場合の税込額/税額を求めます。(税率5%)		
税込額　＝　？	2000 [税込]	(税込 2'100.)
税額　＝　？	[税込] (LS-120TKⅢ)	(税額 100.)
	(LS-12TKⅢ)	(税額 100.)
税抜計算 税込表示額3,150円の場合の税抜額/税額を求めます。(税率5%)		
税抜額　＝　？	3150 [税抜] (LS-120TKⅢ)	(税抜 3'000.)
	(LS-12TKⅢ)	(税抜 3'000.)
税額　＝　？	[税抜] (LS-120TKⅢ)	(税額 150.)
	(LS-12TKⅢ)	(税額 150.)

◆ 税込 / 税抜 キーを押すごとに、金額→税込額/税抜額→税額の順に表示されます。

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは CI/C キーを押して解除してください。

(1)演算結果の整数部が 12 桁を超えた場合

演算結果は上位 12 桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作 / 表示
123,456,789,012 x 10,000 = 1,234,567,890,12<u>0,000</u> エラー	123456789012 [×] 10000 [＝] (E 1'234.56789012)

(2)メモリ内容の整数部が 12 桁を超えた場合(M が点滅します。)

メモリがオーバーフローしたときは CI/C RM/CM キーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容を呼び起こすことができます。

操作	表示
333333333333 [×] 3 [M±]	(M 999'999'999'999.)
123 [×] 456 [M±]	(M E 1.00000005608)
[CI/C]	(M 1.00000005608)
[RM/CM]	(M 999'999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

(3)除数が 0 の除算を行った場合

操作	表示
200 [÷] 0 [＝]	(E 0.)

ＰＣ入力モード（NumLock 非連動対応）

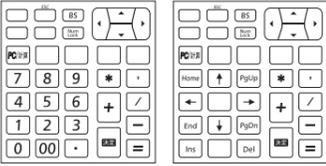
USB ケーブルでパソコンに接続した状態で [PC/計算] (LS-120TKⅢ)/ [PC/計算] (LS-12TKⅢ)キーを押し、PC 入力モードにします。
(PC 入力モード時は、ディスプレイ画面に「PC 入力モード」と表示されます。)

【NumLock 機能】

PC 入力モードで [Num Lock] を押すと、NumLock オン・オフの切替が出来ます。
NumLock オン時には液晶に「Num」が表示され、数字（0～9）やキーに対応するコード：+、−、*、/、=、.（ピリオド）、,（コンマ）、決定、BS、ESC、←、→、↑、↓ をパソコンに送信でき、数字の入力やカーソル移動が行なえます。
NumLock オフ時には液晶には「Num」は表示されず、数字キーをカーソルキーとして使用することができ、簡単にウィンドウをスクロールさせることができます。（数字キーの右端に印刷されている機能：Home、End、PgUp、PgDn、Ins、Del、←、→、↑、↓ を使用することができます）。

<PC 入力モードのキー入力>

<NumLock オン時>　<NumLock オフ時>

※ 詳細は、右図をご参照ください。尚、PC 入力モードで右図のキー以外のキーを押しても無効となります。
※ NumLock オン時でも、パソコンの一部のキーがテンキーモードになることなく、アルファベット等の文字入力ができます（NumLock 非連動対応）。

注意

※ パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、以下のキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます。（パソコンのスタンバイモードの解除はできません。）
・ 計算モード時：[送信] キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。
・ PC 入力モード時：PC 入力モード時に機能するキーであれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。
※ パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、「=」「,」が「ほ」「ね」とかな文字で入力されます。この現象を防ぐには、入力モードを「英数モード」にしてご使用ください。
※ PC 入力モード時に、USB ケーブルがしっかり接続されていないなどの問題があった場合には、自動的に計算モードへと切り替わり、画面に「0.」が表示されます。この場合には、接続を確認し再度 [PC/計算] ／ [PC/計算] キーを押せば PC 入力モードに戻ります。

パソコンとの接続方法

パソコンと接続して使うには、付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。

下記の手順で接続してください。

1 パソコンの USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
※ 必ず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。パソコン本体以外の USB ポートでは正常に動作しない場合があります。
2 本機の USB コネクターに USB ケーブルを接続します。
3 接続後、USB ドライバのインストールを行います。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
※ 使用するパソコン（OS）によっては、自動的に USB ドライバのインストールが行われます。
※ 本機のキー使用中に USB ケーブルの抜き差しはしないでください。

巻き取り式 USB ケーブル（LS-12TKⅢ）

ケーブルの左右を同時に引っ張りながら、長さを自由に調整してください。
ケーブルを収納する時も同様に、左右を同時に引っ張りながらケーブルを巻き取ってください。

動作環境

● OS
Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP の日本語版がプレインストールされていること
● パソコン
以下の条件を充たす IBM PC/AT 互換（DOS/V）機
① Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP の日本語版が動作可能で本体に USB ポートを装備しているもの
② 日本語キーボードを有しているもの
※ その他、Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP が推奨する動作環境に準拠。
※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
※ Windows® 3.1/95/NT 上では動作しません。
※ 他の OS（Windows® 3.1/95/NT 等）から Windows® 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP にバージョンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。
・ Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
・ IBM PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。

キーボードの入力がおかしい時には

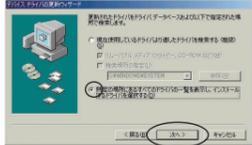
Windows Me/2000/XP をご使用の場合、USB 接続の外部入力機器（日本語キーボードやテンキー等）を接続すると、Windows Me/2000/XP が英語 101/102 キーボードと認識し、接続されている全てのキーボードが英語 101/102 キーボード配列で動作する場合があります。この場合デバイスマネージャーに表示されるデバイスの表示とドライバの内容が一致せず、【@】を押すと【[　】が入力されるといった問題が発生します。
以下の手順にて正常に復帰させることが可能です。
※ OS によってはデバイスマネージャー上のキーボードが最初から英語キーボードになっている場合がありますが、日本語入力が問題なく行える（例：@ が正常に入力できる）場合は、日本語キーボードに切り替える必要はありません。そのままご使用ください。

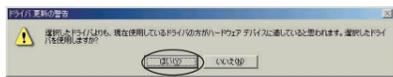
Windows Me の場合

1【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。
2【デバイスマネージャー】タブを選択します。
3【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。

4【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。

5【ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

6【特定の場所にあるすべてのドライバー一覧を表示し、インストールドライバを選択する】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

7【すべてのハードウェアを表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から（標準キーボード）を、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

8【ドライバ更新の警告】画面が表示されますので【はい】をクリックします。

9【デバイスドライバの更新ウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。

10 ドライバのインストール終了後、【完了】ボタンをクリックします。

11 手動でコンピュータを再起動します。

Windows 2000 の場合

1 Administrators 権限を持ったユーザーで Windows にログオンします。
2【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。
3【ハードウェア】タブを選択し、【デバイスマネージャー】ボタンをクリックします。
4【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。
5【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。
デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。

（右上へ続く）

Windows 2000 の場合（続）

6【次へ】ボタンをクリックします。

7【このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する】ラジオボタンを選択して、【次へ】ボタンをクリックします。

8【このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から（標準キーボード）、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

9 下の画面が表示されたら、【はい】をクリックします。

10【デバイスドライバのアップグレードウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。

11 下の画面で【完了】ボタンをクリックします。

12 下の画面で【はい】ボタンをクリックします。
コンピューター再起動後、設定が有効になります。

Windows XP の場合

1【スタート】→【コントロールパネル】→【プリンタとその他のハードウェア】の順にクリックします。
2【コントロールパネルを選んで実行します】の【キーボード】をクリックします。

3【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイス】に表示されている英語キーボードの名前をクリックします。次に、【プロパティ】をクリックします。

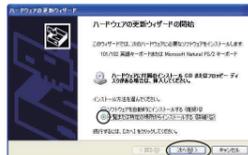
※ クラシック表示に設定されている場合は、【スタート】→【コントロールパネル】→【システム】→【ハードウェア】タブ→【デバイスマネージャー】→【キーボード】の順にクリックし、表示されている英語キーボードの名前をクリックします。

4【ドライバ】タブをクリックし、【ドライバの更新】をクリックします。

5【一覧または特定の場所からインストールする（詳細）】をクリックし、【次へ】をクリックします。

6【検索しないで、インストールするドライバを選択する】をクリックし、【次へ】をクリックします。

7【互換性のあるハードウェアを表示】チェックボックスをオフにします。次に、【製造元】ボックスの一覧から【(標準キーボード)】をクリックし、【モデル】ボックスの一覧から現在お使いの日本語キーボード名をクリックします。そして【次へ】をクリックします。

※ ご使用のモデルによっては、下記のメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は【はい】をクリックします。

8【完了】をクリックします。

9【閉じる】をクリックします。再起動する旨のメッセージが表示された場合、【はい】をクリックするとすぐにコンピュータを再起動します。